

## 第7回 奈良中心市街地交通処理対策検討委員会 議 事 録

1. 開催日時 平成22年2月12日（金）14:00～16:30

2. 開催場所 奈良国道事務所 4階会議室

3. 出席者

委員 倉内 文孝（岐阜大学工学部准教授）

委員 国土交通省近畿地方整備局奈良国道事務所長

委員 国土交通省近畿運輸局奈良支局長（代理：首席運輸企画専門官）

委員 奈良県土木部長

委員 奈良県土木部まちづくり推進局長

委員 奈良県地域振興部文化観光局長（代理：ならの魅力創造課課長補佐）

委員 奈良県警察本部交通部長（代理：交通規制課長）

委員 奈良警察署長（代理：交通第一課長）

委員 奈良市副市長（代理：企画部長）

委員 奈良市観光協会長（代理：専務理事）

オブザーバー

- ・ 西日本旅客鉄道株式会社
- ・ 近畿日本鉄道株式会社
- ・ 奈良交通株式会社
- ・ 社団法人平城遷都1300年記念事業協会

事務局 奈良県土木部道路・交通環境課

国土交通省近畿地方整備局奈良国道事務所

4. 議 事

◆事務局より以下について説明がありました。

【奈良中心市街地の交通施策について】

- ・ 奈良中心市街地内での交通処理の基本方針に基づき、検討を進めていく交通施策について説明

**【奈良公園交通社会実験結果について】**

- ・ 渋滞対策として、①公共交通への転換、②P&R駐車場の利用促進、③奈良公園周辺の駐車場案内、④帰宅時における案内、⑤通過交通に対する迂回案内について検証し、効果や課題を整理し、恒久実施に向けて検討する内容を示した。

**【平城遷都1300年祭の交通対策について】**

- ・ プレ交通社会実験の結果と1300年祭に向けた改善点を示し春季フェア期間の交通対策について紹介した。夏期・秋期フェア期間や恒久対策としての交通対策に向けて評価改善計画を説明した。

◆ その後の審議の中で、以下の点について意見が出ました。

**【奈良公園交通社会実験結果について】**

- ・ 交通対策としては、公共交通への転換を一番に考える必要がある。
- ・ 広報媒体として、インターネットによる周知が最も効果的と示されているが、全ての世代で利用が容易な媒体となっているとまでは言えないので、広報媒体の選択については、インターネットに偏り過ぎないように注意が必要。
- ・ 奈良公園内での一方通行規制の導入については地元住民と調整し進めること。

**【平城遷都1300年祭の交通対策について】**

- ・ 今から1300年祭に向けて新たに実施できる施策は公共交通への転換を促進するしかない。さまざまな媒体での広報を検討すること。
- ・ シャトルバスの定時性を確保する取組と併せて、シャトルバス内で楽しくすごせる工夫を実施することが、観光客の満足度を高めるのに有効。

◆ 次回委員会では、春季フェア期間の交通対策について分析、検証した結果を基に今後展開する交通施策について議論を進めていくこととなりました。

以 上